

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020200

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	14	芸術・文化の振興	事業優先度	B		
単位施策	2	芸術・文化活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	陶芸推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	工房利用者への支援及び作陶技術の向上		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	管理体制と愛好者への指導及び普及推進		関係例規・法令名	無		
住民参加	有		関係個別計画名	無		
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催 ガス窯修繕(バーナー一部分等)	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	
	事業費(千円)	4,110	800	800	910	800	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	4,110	800	800	910	800	800	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,508	898	842	986	782	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,508	898	842	986	782	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 施設管理と愛好者支援	(実施内容等) 施設管理と愛好者支援	(実施内容等) 施設管理と愛好者支援 ガス窯修繕	(実施内容等) 施設管理と愛好者支援	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	利用者600名	利用者600名	利用者600名	利用者600名	利用者600名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	112%	105%	108%	98%	0%
	全体達成率	22%	42%	66%	85%	85%	
	備考欄						

事業名	陶芸推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	年間利用者数
【抱える課題やニーズは】	陶芸工房施設の適切な維持管理及び施設利用の促進。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	文化・伝承活動への促進と陶芸工房施設の管理体制維持を図る。	① 年間利用者数	目 標 年 度 目 標 値 600 人 実 績 値 793 人 達 成 度 132.2 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	陶芸活動の定着及び促進と陶芸教室の開設。		②
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	陶芸活動の推進	産業観光まつり・町民文化祭への出品	
	陶芸工房施設の管理	施設管理と陶芸愛好者への指導(3名配置、週3回)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	芸術文化の伝承活動として根付いており、生涯学習の観点から事業の支援は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	安定した陶芸活動と初心者への指導などが継続的に行われ、各イベントへの出展などを通して普及推進に努めている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	計画通りの施設管理と指導体制が定着し、作陶技術も向上している。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	施設管理費については町が行い、陶芸活動に対する経費は利用者負担で活動している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
社会教育活動としての重要施策であり、芸術文化の振興・発展を図るうえで、計画通り事業を進めることができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
引き続き愛好者への指導など、自主的な活動意欲の促進を図りつつ支援していきたい。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止